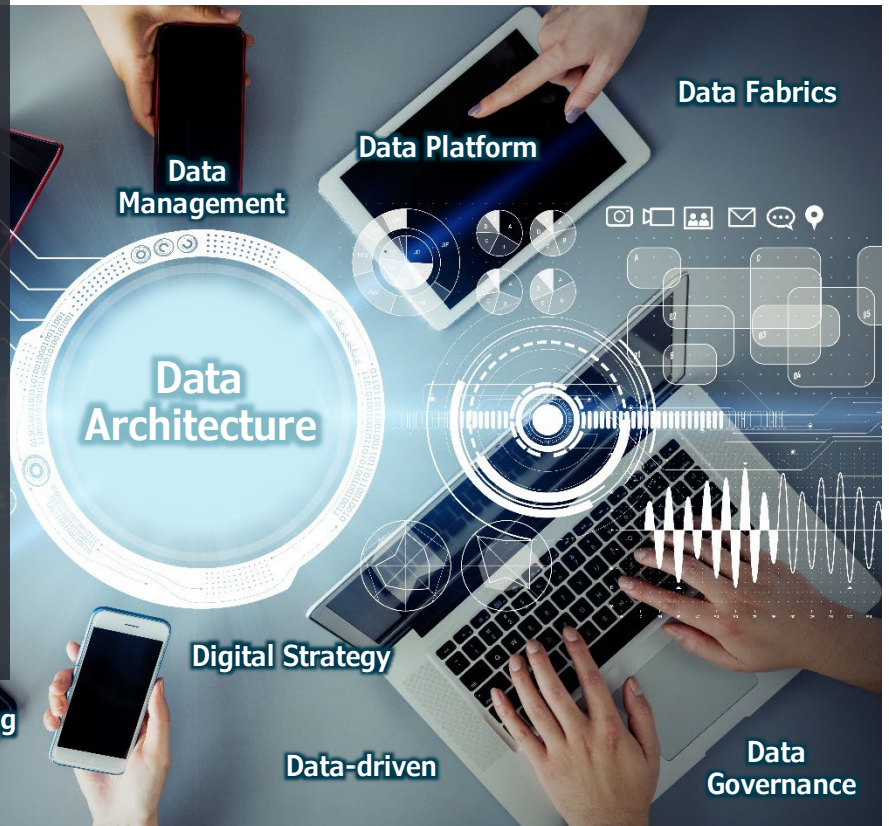


効果的で戦略的なデータ利活用で
DX時代におけるビジネス価値向上へ

データ利活用アーキテクチャ策定コンサルティングサービス

近年、多くの企業が、データドリブンに基づくビジネスの改革や創出に注目しています。従来の枠組みを超え、高付加価値なサービスの提供で他社との差別化を図るためには、もはやデータの利活用が必要不可欠だからです。しかし、自社内に散在しているさまざまなデータをいかに適切かつ迅速に利活用するか、どのような新技術やオープンデータと融合するかなど、企業が取り組みを行う上で、多くの課題に直面します。これを解決するためには、包括的なデータ利活用戦略や全体最適化されたアーキテクチャ・マネジメントが重要です。

日立コンサルティングでは、データをビジネスに生かすイメージの可視化、これを実現するシステムアーキテクチャから、データを有効かつ正確に利用できるデータガバナンス・マネジメントまでの構想策定など、貴社のデータ利活用の全体最適化を支援し、ビジネスの価値向上に貢献します。



データ利活用の体系的な課題整理と構想策定を支援

部門ごとの個別最適・サイロ化から脱却し全体最適化に向けたデータ利活用に関するさまざまな課題やニーズ、ありたい姿をヒアリングし、これを体系的に整理。今後、取り組むべきテーマを明確化することで、データをビジネスに生かすための具体的なプロジェクト計画策定につなげていきます。



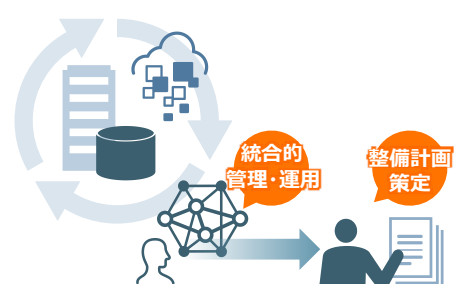
データプラットフォームのアーキテクチャとプロジェクト計画を策定

明確化したテーマの実現に必要な業務・データ要件を整理し、必要なデータをタイムリーに提供できる全社横断型データプラットフォームのアーキテクチャを検討します。全体最適の観点から、投資対効果、実現方法なども鑑み、ロードマップおよびプロジェクト計画を策定し実現アプローチを明確化します。



データガバナンス・マネジメントの整備計画を策定

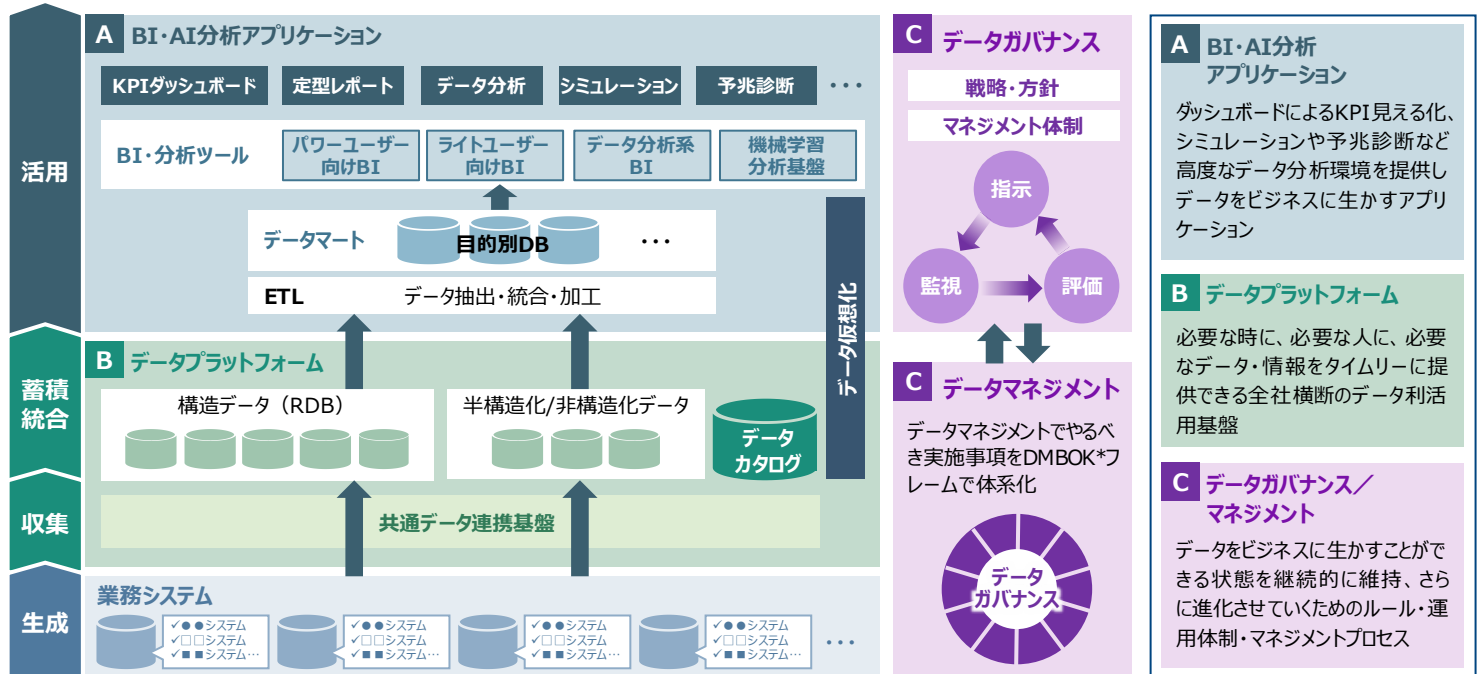
データをビジネスに生かすことができる状態を継続的に維持し、さらに進化させていくためには、組織全体でデータを統合的に管理・運用するデータガバナンス・マネジメントの整備が重要です。そのために必要なルール・運用体制・マネジメントプロセスの整備計画を策定します。



こんな課題をお持ちのお客さまにお勧めします

- ✓
経営層の課題
 見たいデータがタイムリーに見られない。グループ会社を含めたすべての業績数値をタイムリーに把握し、KGIおよびKPIの達成に向けた意思決定（データドリブン経営）をスピードアップしたい。
- ✓
業務部門の課題
 業務ごとにシステムが乱立しているため、データを手作業かつ継ぎはぎでExcelに取り込むデータルーから脱却し、本来の業務や価値創造に割く時間を拡大したい。
- ✓
IT部門の課題
 どこにどのようなデータがあるのかデータ資産の全体像が分からない。業務ニーズごとに乱立しているBIシステムの個別最適やサイロ化から脱却し、全体最適の視点でデータ利活用を促進したい。

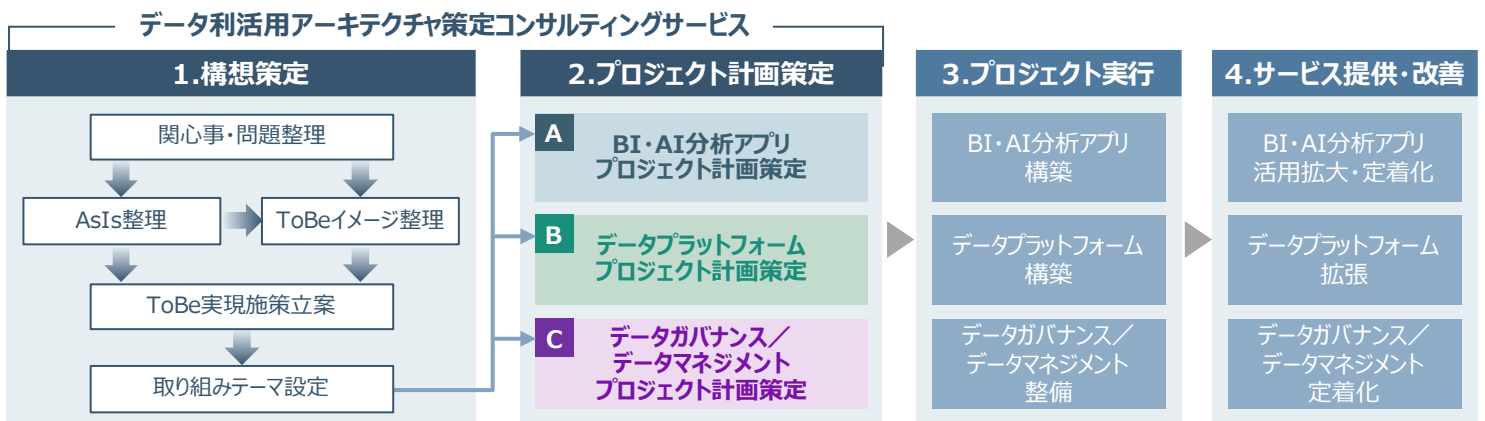
データ利活用アーキテクチャのスコープ



*DMBOK: Data Management Body Of Knowledgeの略称

推進プロセス

お客さまのご要望に応じて、「1.構想策定」や「2.プロジェクト計画策定」のA、B、Cを取捨選択してご提供することが可能です。



データ利活用に関するさまざまな重要課題、アーキテクチャ全体像を明らかにし、今後取り組むべきテーマを明確化

各テーマにおけるToBeを実現するプロジェクトの要件、投資対効果、実現方法、ロードマップ、推進体制、スケジュールを明確化

事例

業種	事例概要
製造販売会社	<ul style="list-style-type: none"> ・全社データ利活用構想策定支援 ・ダッシュボード構築プロジェクト計画策定支援 ・データプラットフォーム構想策定支援